

災害時のトイレ事情

藤枝女性防災ネットワーク

令和8年10月24日（土）

藤枝女性防災ネットワークについて



【目的】

地域防災活動への女性参画の拡大や女性の視点を取り入れた避難所運営の検討・推進を行うため令和2年に結成。

【参加者】

防災に興味のある女性

【団体等からの参加】

藤枝市議会 地域防災指導員 民生・児童委員
岡部赤十字奉仕団 藤枝市防災士会
V C F（災害ボランティアコーディネーター
藤枝） など

災害時のトイレの現状



断水 → 流せないかも



停電 → 給水・排水設備
が使えないかも



下水道の破損
→ 流してはいけないかも



1995年 阪神・淡路大震災



2011年 東日本大震災



2016年熊本地震



2018年7月豪雨

写真：NPO法人日本トイレ研究所（右下のみ株式会社総合サービス）

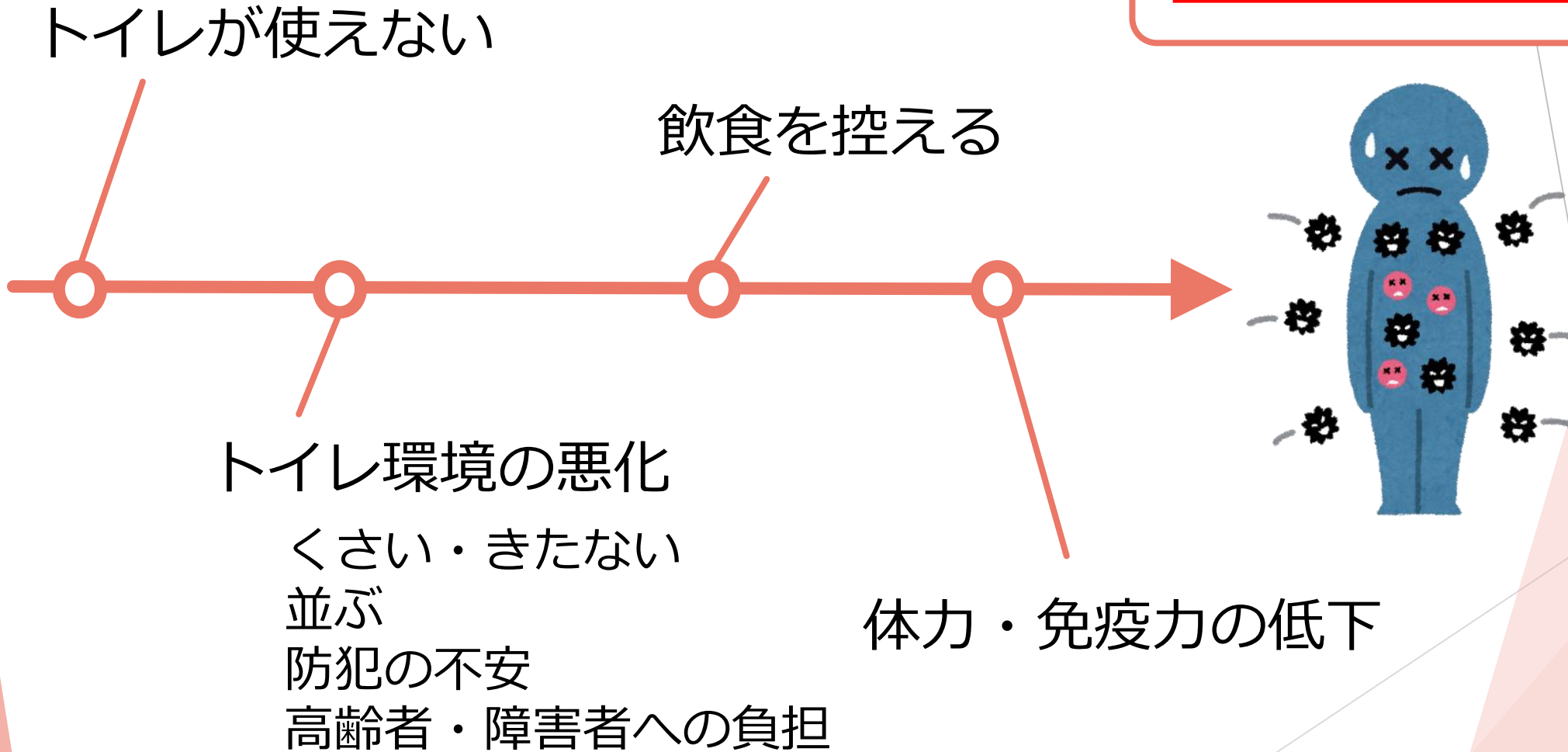
災害時の不衛生なトイレ（撮影：NPO法人日本トイレ研究所、右下のみ株式会社総合サービス）



いつものトイレが、災害時に使えるとは限りません

災害時のトイレ問題

健康被害の発生



女性の視点で考えるトイレ

段差があって
転倒しそう

防犯対策は？

長い待ち時間

子どもを連れて
いく場合は？

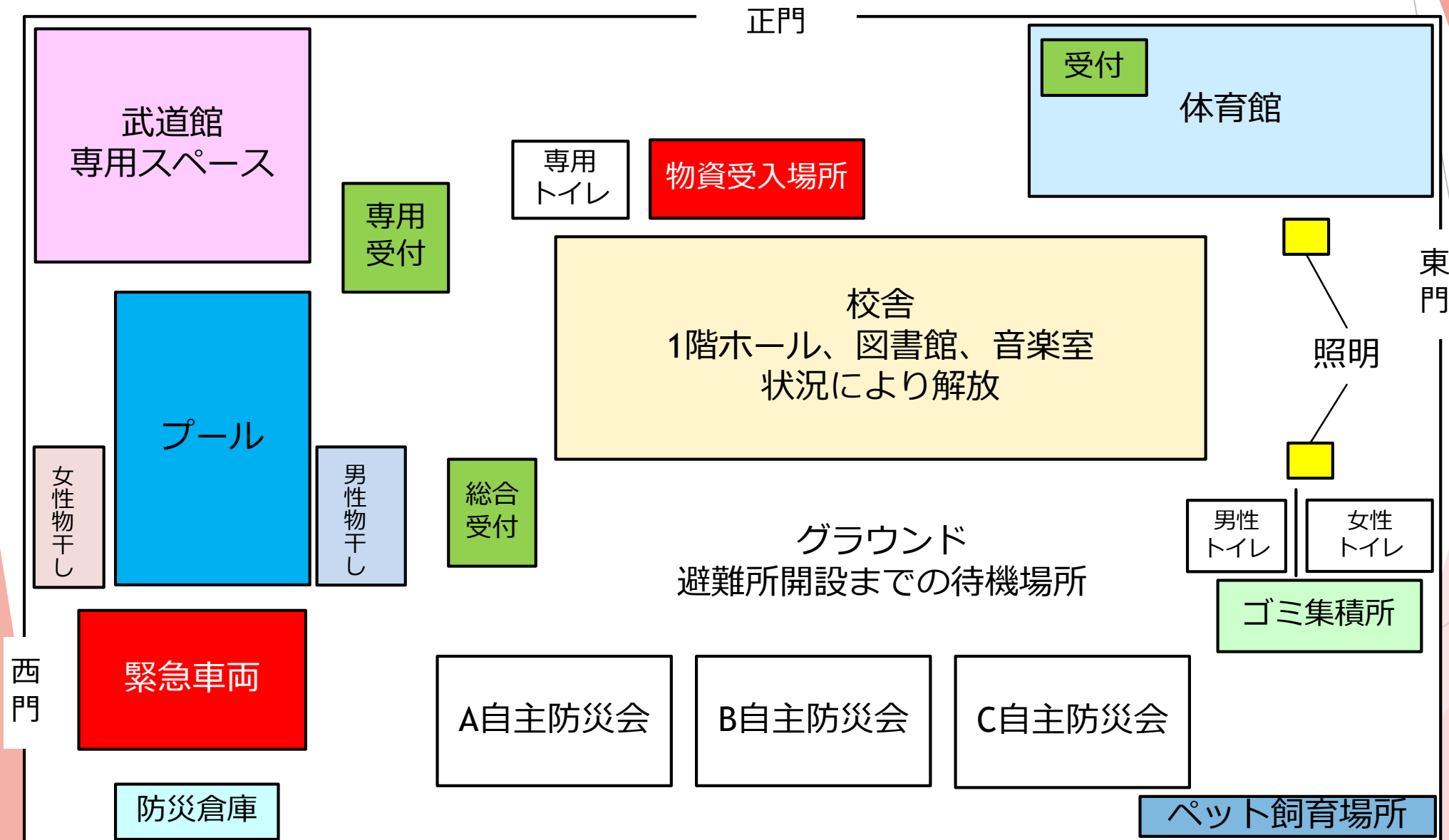
生理用品は？

夜間の照明は？



施設全体のレイアウト例

※藤枝市避難所運営マニュアル一部改変



※専用〇〇
発熱・体調不良者
が使用する施設

避難所のトイレ何が必要？

備品

- ・簡易トイレ、携帯トイレ
- ・トイレットペーパー
- ・処理袋
- ・生理用品
- ・清掃用品
- ・消毒用品



環境

- ・照明
- ・夜間の動線
- ・プライバシーの配慮
- ・男女別に設置

（1：3を目安に女性用を多めに確保）

※スフィア基準を参考



今日からできること



家庭で

家族の人数分を目安に備えましょう

○**携帯トイレや簡易トイレ**

一人当たりの目安 1日5回×7日分

○**トイレットペーパー**

一週間でどのくらい必要か計算してみよう

○**生理用品、おむつ**

普段から多めに買っておいて、災害時にも使えるようにしよう

○**汚物の保管方法**（ペールなど）も考えてみよう

人数×7日分を保管する必要がある

今日からできること

地域防災指導員として

○災害時はいつものトイレは使えない

発災直後は、トイレの使用を禁止し、簡易トイレや携帯トイレを使用する

○地域の人に伝える

- ・ 家庭での備えの大切さ

家族に合った使いやすいものを備蓄しよう

- ・ 避難所のレイアウトを確認する

トイレの場所や動線を確認し、避難所で困らないようにしよう

